

スクラム

令和7年1月31日（金）
大泉町立南中学校
第2学年 学年通信
第21号

期末テストに向けて準備をすすめよう！

2月19日（水）～21日（金）の3日間、3学期期末テストを実施します。2年生最後の定期テストになりますので、しっかりと準備をすすめておきましょう。特に、「成績が思った以上に伸びない」と悩んでいる人は、次の学習方法を参考にしてみてください。

☆基本的な学習方法 → 「反復」と「繰り返し」

- ①ワークブックの問題をノートに写してもう一度やってみる。
- ②授業ノートやプリントをもう一度ノートにまとめ直してみる。
- ③「わかる!」「できる!」まで徹底して繰り返す。
- ④ひとつひとつを「ていねいに」やる。



重要 提出物を期限までにしよう！

期末テストの提出物（ワーク等）ですが、今までは提出できなかった場合、「提出期限日の翌日から3日間までの猶予期間」がありましたが、今回のテストから猶予期間を廃止します。理由は、もうすぐ受験生となるみなさんにとって、「提出期限を守ること」はとても重要なことだからです。入学願書等の書類は、提出期限を過ぎると受け取ってもらえず、試験を受けることができなくなります。「少しでも遅れても大丈夫」なんてあまい考えは捨て、必ず提出するという強い気持ちで取り組みましょう！

風邪・インフルエンザ警報！

予防について調べてみると、①「手洗いうがいを徹底する」②「部屋の温度、湿度設定を40～60%にする」③「身体を健康に保つ（免疫力・体力をつける）」④「混雑する場所はできるだけ避ける」の4つが大切だそうです。元気に毎日の生活を送れるよう心がけましょう。



2月の主な行事予定

【2月は17：00完全下校】

日	月	火	水	木	金	土
2 金曜校時	3 金曜校時	4	5 集金日	6	7 特校時 放：漢字検定	8
9	10 4校時まで	11 建国記念日	12 特校時 放：専門委員会	13 ☆放課後補習	14 火曜校時 ☆放課後補習	15 ★テスト前 部活なし
16 ★テスト前 部活なし	17 木曜校時 ★テスト前部活なし	18 ★テスト前部活なし	19 期末テスト① (国・理・技家) ※給食なし	20 期末テスト② (社・数・美) ※給食なし	21 期末テスト③ (英・音・体) スキー教室事前指導	22
23	24 ← スキー教室 →	25	26	27 スキー教室 振替休業日	28 4校時まで スキー教室事後指導 ※給食なし	3/1

※「スキー教室のしおり」は来週配布予定です。日程や持ち物については「スクラムNo.17」をご覧ください。学校のホームページやタブレットのclassroomからも確認することができます。

※21日（金）の午後はスキー教室事前指導になります。※給食ありで、終わりしだい下校です。

※27日（木）は2年生のみ休日。部活もなしです。28日（金）は4校時までで給食はありません。

【集金のお知らせ】

- ・2月の集金日は5日（水）です。金額：10,000円 ※集金袋は前日に配布します。
- ・2月の給食費口座振替日は17日（月）です。※通帳残高をご確認ください。

「立志」について学習しました！

来週、2月3日(月)は立春となりますが、この立春の頃に立志のお祝いをする風習があります。そんな時期を迎えた生徒たちに「立志」について話をしたので紹介します。

りっし【立志】・・・志を立てること。生きる上での目標を立て、それをなしとげようとする事。

りっしき【立志式】・・・元服(げんぷく)にちなんで15歳(数え年の14歳)を祝う行事。参加者は、将来の決意や目標などを明らかにすることで、おとなになる自覚を深める。

【Decision of purpose in life】・・・(人生の)目標を決定すること。

江戸時代以前の日本では、12歳から16歳になると、男子は大人になったしるしとして元服(げんぷく)という儀式がありました。また、女子には同じような趣旨の裳着(もぎ)という儀式が、12歳か13歳の時に行われていました。人生50年と言われていたこの頃の時代では、12歳から16歳という年齢は、大人の仲間入りをする人生の大きな節目の時期だったということです。

現代では、元服や裳着に相当する行事は成人式ですが、成年年齢が2022年4月より20歳から18歳に引き下げられたので、みなさんは18歳で成人式を迎えることになります。大人としてさまざまな権利を得ると同時に、多くの義務や責任が課せられるようになります。しかし、当然のことながら18歳を境にしてすぐに子どもから大人になるわけではありません。子どもから大人への第一歩を踏み出す時期が14歳前後であり、この時期が人間にとって人生の大きな節目であるという点においては、昔と何ら変わりありません。

先人に学ぶ はしもと きない 橋本左内(1834-1859)

橋本左内は江戸時代末期の志士、福井藩士の外科医の子として生まれました。橋本左内のエピソードで有名なのは、15歳満年齢だと14歳の時に書いた「啓発録」に立てた自らの決意表明です。その後の彼の歩んだ人生を見ると、この初心が見事に貫き通されたことが分かります。「啓発録」には、橋本左内は本当に立派な人になるには、次の五つの事柄を本気で実行しなければならないと考えました。



啓
発
録「五訓」
一 稚心を去る
一 気を振う
一 志を立てる
一 学を勉める
一 交友を択ぶ

「稚心を去る」・・・自分の心の中にある幼稚な考え方や甘えをすてよう
「気を振う」・・・自分の気力を振るい立たせ、信念をもって行動しよう
「志を立てる」・・・自分の人生の目標を立て、その実現を心に誓おう
「学を勉める」・・・勉学にはげみ、学問を身に付けよう
「交友を択ぶ」・・・共に成長し歩むことのできる真の友を見つけよう

生徒たちは進路について真剣にかつ具体的に考え、決めていく時期にもなります。そのためにも夢や目標をもち、その実現に向けて努力をしていくことは大切なことです。その決意を表すために、生徒たちは自分で決めた言葉を色紙に毛筆で書き、「未来の自分へのメッセージ」を考えました。6日(木)に各クラスで「発表会」を行う予定です。

また、14歳という年齢は、昔でいう元服のお祝いの年齢であり、もう子どもではないという『自覚』をもつ年齢だという話もしました。さらに、現代では法的にも『責任』をもたなければならない年齢です。思春期というなかなか難しい年頃ですが、これから義務教育最後の年を迎え、社会に飛び立つ時期もうすぐです。お子さんが心身ともに一步一步成長していく姿を、今後も温かく見守っていただけたらと思います。



「立春」は、豆まきの行われる「節分」の翌日です。今年の節分は2月2日(日)で、次の日の2月3日(月)が「立春」となります。立志(立春)式は、暦の上では春になるという心のときめきと大人への第一歩を踏み出そうとする十四歳の心のときめきを重ね合わせる意味で「立春」の日の前後に行われています。

